

豊能定例会議

《代表理事より》

10:10～10:30

- ・ イベント関連 & 告知
 - ・ 横展開WG
 - ・ 予算関連・進捗
 - ・ 契約関連
- ・ アンケートの段取
- ・ APIカタログ
- ・ 原課Meetingについてのルール
- ・ CSPFCコールセンター

《事務局より》

- ・ 議事録の確認のお願い
- ・ 3月定例会議は全日オンラインの予定です
- ・ 納品から支払いまでのスケジュール確認

10:30～ 分科会

今後のスケジュール

- ・ 3月14日 OZCaF INNOVATION CONFERENCE

Powered by OSAKA Zero Carbon Smart City Foundation

OZCaF INNOVATION CONFERENCE

2023.3.14 | 火 | 12:00~17:00

スマートシティ・GX・DXに資する先進的なサービスを展開するOZCaF会員事業者間での未来志向型コミュニケーションを行う対話と繋がりを創出することを目的として、OZCaF INNOVATION CONFERENCE (略称:OZIC)を立ち上げました。
本事業を通じて、OZCaFがSDGs・脱炭素等の社会課題の解決と、持続可能な経済成長の両輪を加速させるエンジンとして一層発展すること及び、会員等の事業者間や自治体との共創、さらにはイノベーション創出の場としていきます。

第一部 パネルディスカッション

00. Opening Session

「公民連携のプラットフォームとしての存在意義と今後の可能性について」

「特別講演」
「古賀市の公民連携による脱炭素推進とESG投資について」

福岡県 古賀市 田辺 一城 市長

総合司会 石塚 理奈

01. Global

02. Smart City

03. OSPF

04. Local Government

【OZCaF INNOVATION CONFERENCE詳細】

- 開催日時：3月14日（火）12時00分～17時00分
- 開催場所：QUINTBRIDGE
- プログラム：
 - （第一部）パネルディスカッション
 - （第二部）交流会【60分】
- 主催：一般社団法人OSAKAZEROカーボン・スマートシティ・ファウンデーション
- 共催：大阪スマートシティパートナーズフォーラム
- 後援：大阪府

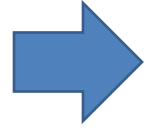
https://ozcaf.jp/2023/annnai_innovation-conference2/

トークテーマについては、「スマートシティ」をテーマにパネルディスカッション（50分間→45分に変更）の実施をお願いいたします。イメージとしましては、豊能町におけるスマートシティの取組みや今後の展望などについて、ディスカッションをお願いできれば幸いです。

【問合せは事務局まで】
一般社団法人OSAKAZEROカーボン・スマートシティ・ファウンデーション
TEL:06-6484-6683 E-mail:contact@ozcaf.jp



OZCaf Inv Conf.構成イメージ



OZCafとMeetingし、段取り詳細展開します。
 45分へ変更

『デジタル田園都市国家構想の最前線～プレイヤーたちの奮闘～』

CSPFC (20分)

スマートシティ/デジ田の現在 (日本全体)

豊能町の取組み

エコシステム&少子高齢化のステップフロー

(少しゼロカーボンに触れるなら。デジタル=脱炭素?)

各社 (各社5分)

各カテゴリーで各社ビジョンとビジョンからみるスマートシティでの取組み

豊能町や**その他地域**での取組み

(少しゼロカーボンに触れるなら)

パネル (10-15分)

スマートシティを進めるうえで、良かったこと

スマートシティを進めるうえで、課題感

今後スマートシティはどうなっていくのか?

大阪のEXPOに向けて各社が思うこと

最新の脅威動向とセキュリティ対策が集結

Security Days

東京 3月7日(火) - 10日(金) 大阪 3月16日(木)

東京会場 >

大阪会場 >

【新型コロナウイルス感染症対策について】

Updates

2023.01.23

東京

東京会場の来場事前登録を開始しました。

Security Days

一足先に
セッションの中身を深掘り！
特別インタビュー公開中
記事はこちら ▶

<https://f2ff.jp/secd/2023-spring>

CSPFCも後援

横展開WG：全体

		○：参加希望、×：参加不可、－：検討中 県の場合特定の市町																									
		大阪府								茨城県		神奈川県	鹿児島県	愛知県	岐阜県	富山県	石川県	岡山県	兵庫県	栃木県	佐賀県	沖縄県	福島県	北海道	千葉県	東京都	
分科会	企業名	豊能町	熊取町	41市町村	福井県	13市町	若狭町	池田町	美浜町	福井市	笠間市	横浜市	鹿児島市	幸田町	養老町	15市町	19市町	真庭市	宝塚市	-	20市町	41市町村	大熊町	札幌市	市原市	館山市	調布市
見守り (例)	A社	○		○	○						-	-	○	×	×	○							那覇市				
見守り	iTSCOM	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルスケア	I&H	○		○	-	×	×	×	-	-	×	-	×	×	-	-	-	×	○	-	×	-	×	○	×		
	Movetex	○		○	-	×	×	×	-	-	-	-	×	×	-	-	-	×	○	-	×	-	×	○	×		
	Y4			○	○						○	○	○	○			○	○				○			○	○	
	NTTコミュニケー	○			○												○	○									
	ウェル	○		-	-									-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	GB																										-
子育て																											
買物支援																											
デジタル教育	NTTコミュニケー	○																									
観光	おてつたび																										
地域経済	Digital Platforme	○		○	○						○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モビリティ	iNTTコミュニケー	○		○															○								
	SWAT Mobility	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	iTSCOM	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ネクスト・モビ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	NOAA	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
インフラ																											
デジタル行政																											
防災	Y4			○	○						○	○	○	○			○	○			○	○			○	○	
	iTSCOM	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
データ連携基盤	OZ1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
プライム (PM)		CSPFC		NTT西								NTT東															
対象自治体数	167																										
人口数 (万人)	2,417	2	4	877	78						7	377	156	4	3	105	114	4	23	194	81	146	1	196	27	24	

<https://1drv.ms/x/s!ArcjBPTsqfJchuJKQHK5J0cFLV1Oqw?e=mDKcyN>

横展開希望企業は行の挿入し企業名を記入し、提案を事務局までご提出ください。

入力期限 10月31日→デジ田予算希望自治体へ提案書作成開始

デジ田向け資料作成予定/ (検討)

豊能町、(熊取町)、福井県、若狭町、笠間市、横浜市、富山県、(真庭市)

対象自治体は随時増えるので、常に更新予定

* 基本は豊能町モデル： 収益化も含めて豊能町でしっかり検証 (同じ問題は各地域で起こるので)

豊能町 (基礎) →福井県・笠間市 (応用) →その他自治体 (展開)

福井県
Type1準備中

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/dx-suishin/dx/digitaltuuka-puropo.html>

笠間市
Type1準備中

有田町
Type
ス

横浜市
Type
色
補正
子育て

富山県
Type1

真庭市
Type1準備中

申請期限は、令和5年2月20日(月)17時まで
289,249,202円(税込)を上限

各自治体提出済み
各省庁から付随資料作成依頼スタート
各社引き続きご協力お願いします。

福井県の記載内容は各自治体参考にして
公募が組み立てられていく。
(これからのスタンダード)

● 関連ファイルダウンロード

- 01_01_公告 (PDF形式 325キロバイト)
- 02_01_プロポーザル実施要領 (PDF形式 249キロバイト)
- 02_02_様式1~3 (Word形式 28キロバイト)
- 02_03_様式4 (Excel形式 21キロバイト)
- 02_04_様式5 (Word形式 27キロバイト)
- 03_01_プロポーザル_要求仕様書_本編 (PDF形式 721キロバイト)
- 03_03_コンパクトスマートシティプラットフォーム接続仕様概要_v1.3 (PDF形式 2,081キロバイト)
- 03_04_JP-Link_SecurityServer_Installation_Guide_v1.1(ja) (PDF形式 1,973キロバイト)
- 03_05_JP-Link_AdapterServer_Installation_Guide_v1.3(ja) (PDF形式 2,982キロバイト)
- 04_01_提案書作成要領 (PDF形式 248キロバイト)
- 04_02_別添1_機能要件対応表 (Excel形式 30キロバイト)
- 09_審査要領 (PDF形式 256キロバイト)

予算関連

デジタル田園都市R5年度予算

1. 公園および周辺→地方創生拠点整備
 拠点整備タイプ 5億 (10億円) 1/2
 要件：官民協働 (PFI活用加点) / デジタル社会の形成
 (申込締切1月中下旬：他より少し早い)
2. デジタル実装タイプ
 今年もType3→マイナンバーC.新規用途開拓を中心に作成
3. モビリティ→Society5.0タイプへ移動→デジタル実装に戻す
 →経済産業省から予算案



公園

拠点整備 (補正) : 2.4億円で申請済

マイナンバーカード横展開

3億円? 申請します

~~Type3 ICタグ活用→サービス改修費~~

~~—6億円? 申請します~~



2つ出しNG? →TypeXに絞る
 予算減ります。
 各企業のサービス内容減らします

総務省+経産省から来年度予算個別説明@豊能町 2月24日~

再度、予算についての考え方

OSPFでの江川の説明： 自治体負担をなくし、民間活動で維持できることを考える。
 自治体の資産になるものは自治体とよく話をして予算を考える

豊能町：

予算を組む場合、小さい自治体では予算が厳しいため、既存事業に組み込めるかがポイント
 そのためには原課対応サービス内容を良く理解し、サービスに寄り添わせる形が望ましい
 新サービスは、既存サービスの予算を削る可能性が高くなるため、付加価値が問われる

その他：PERSONAL-LINK (都市OS) の改修 ネイティブアプリからWebアプリへの変更

→12月末仕様書開示、4月β版、6-8月本番環境

(利用者が色々アプリダウンロード大変なのでWeb化)

基本的に自治体が行うサービスは住民サービスで、住民が受益者となるので、可能な限り**受益者負担**になるように事業を確立を考えてください。
 (助成金は、事業立ち上げを支援する部分までなので、自走できるように工夫が必要です)



地域デジタル基盤活用推進事業のご案内

地域課題にデジタルで取り組む
地方公共団体や企業・団体の皆様へ

地域のデジタル変革を 総合的にご支援します

～地域デジタル基盤活用推進事業のご案内～

令和4年12月23日版

お問合せ先
総務省 情報流通行政局
地域通信振興課
電話：03-5253-5758（直通）
email：digital-kiban@ml.soumu.go.jp

【事業の概要】

支援対象：地方公共団体、企業・団体など

※支援メニュー毎に対象条件が異なります。
詳しくは次頁以降をご参照ください。

① 計画策定支援

コンサルティング

何から着手
すれば良いか
わからない…



費用対効果を
高めたい…



地域のステーク
ホルダーと連携
して、持続可能
な推進体制を
構築したい

デジタル技術を活用した地域課題解決
のための導入・運用計画策定、推進体
制の構築等を専門人材が支援します。

令和5年2月頃 公募開始予定

初めての自治体向け

② 実証事業

新しいソリューションアイデアの実用化



新しい通信技術（ローカル5G、
Wi-Fi HaLow、Wi-Fi 6Eなど）
を活用して、地域課題の解決を図る
ソリューションアイデアの実用化に
向けた社会実証を支援します。

令和5年4月頃 公募開始予定

豊能町＋若狭町

③ 補助事業

地域の通信インフラの整備



通信インフラ（ローカル5G、Wi-Fi、
LPWAなど）の整備を伴う、デジタル
技術による地域課題解決の取組を
支援します。

補助率 1 / 2

（地方公共団体の負担分について →10頁）

令和5年4月頃 公募開始予定

デジタル田園都市国家構想の主要KPI

2030年度までに全ての地方公共団体がデジタル実装に取り組むことを見据え、
デジタル実装に取り組む地方公共団体を、2024年度までに1,000団体
2027年度までに1,500団体とする。

2/24に総務省・経産省から
来年度の予算の説明

【② 実証事業】（予算：10.0億円程度）

ローカル5Gなどの**新しい通信技術**を活用して地域課題の解決を目指す、**新たなソリューションアイデアの実用化に向けた実証**を行います。

<実施主体>

地方公共団体、企業・団体など

<対象となる通信技術>

ローカル5G

Wi-Fi HaLow

Wi-Fi 6E など ※1

※1 上記以外の通信技術については個別にご相談ください。

<実施形態>

請負（定額）

<事業規模の目安>

1,000万～8,000万円程度 ※2
※3

※2 活用する通信技術の種類や費用対効果なども踏まえて、提案の内容・規模を評価させていただきます。

※3 原則として、ネットワーク機器の購入費用は対象経費外です。新たに調達が必要な場合には、リースやサブスクリプション等でご対応いただくことになります。

<提案評価の観点例>

- 地域課題の解決に資するものであるか（期待される効果が明確か など）
- 新しい通信技術の特長が活かされるソリューションであるか
（費用対効果が見合っているか、他の通信技術による実現は困難なのか など）
- 新規性のあるソリューションであるか
- 実装に向けた具体的かつ現実的なビジョンがあるか
- 他地域への横展開が期待されるソリューションであるか
- 地域の産官学金との連携が図られているか [加点評価項目]
- スタートアップが参画し、その技術などを活用する取組であるか [加点評価項目]
など

<対象となる通信技術の特長・活用イメージ>

➔ **20～27頁**

地域新MaaS創出推進事業（令和4年度）

- 地域におけるMaaSの社会実装・横展開に向けては、事業性、社会受容性、体制面など取組の中でも共通した課題が存在。これらの共通課題を整理し、地域にフィードバックすることで、社会実装や全国横展開のモデルとなる先進事例の創出を目指す。
- 令和4年度においては、A～Eの5つのテーマを軸に引き続きMaaS実証を実施するが、事業化に向けて「事業面」「体制面」「受容・効果面」のそれぞれで共通的に課題となっている事項について、横断的・定量的に政策効果を評価・分析することに重点をおき、そうした課題に計画的/意欲的に取り組み、かつデータ提供等に協力いただける地域を優先的に採択することとする。



採択事業数減



採択額増

全額経産省負担＝全て経産省のモノ



CSPFC申請予定

（参考）令和3年度におけるMaaS実証の取組事例 ※()内の自治体は、令和3年度の選定地域

A：他の移動との重ね掛けによる効率化 限られたリソースを複数の用途・事業者で活用	B：モビリティでのサービス提供 サービスのモビリティ化により効率化を図る	C：需要側の受容を促す仕掛け 時間帯・需要に応じた行動変容を促すことで、地域経済を活性化
<ul style="list-style-type: none"> ● 自動運転車両を活用した貨客混載サービスの提供（春日井市） ● 福祉車両の非送迎時間を活用した移動支援・食事配達による収益獲得（仙台市・三豊市） ● 企業・スクールバスの行政サービスへの集約（基山町）  <p><モノとヒトの輸送></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 旅客バスの改造、マルチ機能の付加による収益多角化・向上効果の検証（帯広市） ● 複数自治体をまたいだ広域医療サービスの開発（三重県6町）  <p><サービスのモビリティ化></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● サブスク運賃の最適価格の探索（美郷町） ● 需要・供給側双方に働きかけたモビリティサービス水準の探索（室蘭市） ● レンタカー・航空機の接続最適化（北谷町） ● 都市部における来店予約等を活用した来訪ピークシフトの効果検証（大阪市）
D：異業種との連携による収益活用・付加価値創出 異業種との連携により、新しい複合サービスを提供	E：モビリティ関連データの取得、交通・都市政策との連携 モビリティ・異業種データを取得・可視化し、より効率的な移動を実現	
<ul style="list-style-type: none"> ● レシート情報を活用した成功報酬型広告収入モデルの実装（会津若松市・日立市） ● 商業施設に加え、オフィスや研究機関とも連携したモビリティサービス提供の仕組み検証（播磨科学公園都市） 	<ul style="list-style-type: none"> ● コネクテッドカーの普及に備えた、走行データを活用したドライバー（自家用有償）の質担保に向けた検討の実施（永平寺町） ● 交通サービス等の提供で得られた移動・健康データを活用した政策間の連携可能性の検証（入間市） 	

R5年要件変更

4月公募 素案作成済み

1. 公共交通車体の目的外利用（収入改善）
2. ヘルスケアとの連携（健康データと乗降データの組み合わせ）
3. 見守りサービス連携
4. 2次交通連携（JOYカート利用）
- 5.

重点取組評価項目	事業面	事業モデルの実現	新しいモビリティサービスを社会実装する上で生じる新たなリスク/コスト及びその負担方法が明確化されており、試行が計画された取組であるか
		事業効果の定量的な評価	交通分野や連携する異業種・分野における現状の支出・業務負担等が明確化されており、取組による効果（コスト削減・付加価値創出等）の算出方法が明確化された取組であるか
	体制・環境面	リソース効率化手法の導出	交通サービス等の運営に必要なリソース（人員や車両等）及び体制について、現状及び新しいモビリティサービスの社会実装時の状態及び実証実験による効果確認手法が明確化できている取組であるか
		社会実装に向けた体制構築・合意形成	事業主体やビジネスモデル上必要な主体間での交通課題・事業に関する認識の擦り合わせ、実証実験結果等を踏まえ社会実装に向けた合意形成について、具体的なプレイヤー像や手法が設定された取組であるか
	受容・効果面	想定利用者の行動変容・理解醸成の検証	想定利用者の生活・行動様式を理解した上で、取組による行動変容やサービスの維持負担に関する理解醸成等の効果を定量的に評価・分析する手法が設定された取組であるか
		取組による波及効果（外部経済効果）及びその影響の導出	今回の取組を通じ発生する波及効果（外部経済効果、健康増進・医療費削減等）及びその影響を正確に確認・検証する手法が設定された取組であるか

総務省

(令和4年度地域課題解決のためのスマートシティ推進事業に係る採択候補の決定)

大阪府豊能町

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

* 真子事務局長が各社との調整中。各社ご対応お願い致します。

内閣府

未来技術社会実装事業 採択

→令和3年11月24日に第1回地域協議会開催

→令和4年2月24日に第2回 →依頼事項が記載しきれず6月へ変更

デジタル田園都市国家構想交付金

国土交通省（都市局）

「新モビリティサービス事業計画策定支援事業」へ採択 →交付決定

交付決定（内定） 12/7
交付決定 12/20

調達申請OK

(デジ田)

- 3月1日 各社報告書完成 (遅れる場合は事務局相談)
- 3月10日 CSPFC報告書完成予定
- 3月10日～ 豊能町レビュー

※詳細日程事務局からの案内にて

【実施計画】

令和5年3月17日 (金)

※最終版 (軽微な変更を含む) を提出してください。

- ①実績報告書 (要綱別記様式第8,9) .docx
- ①'実績報告書 (要綱別記様式第8,9) 記載例.docx
- ②実績報告 (要綱別紙様式II) .xlsx
- ④実績報告添付様式 (TYPE1) .xlsx
- ④実績報告添付様式 (TYPE23) .xlsx
- ⑤支出状況調査.xlsx
- ⑥精算払請求書 (要綱別記様式第12) .docx
- ⑥'精算払請求書 (要綱別記様式第12) 記載例.docx
- 国【事務連絡】デジタル田園都市国家構想推進交付金 (デジタル実装タイプ) の実
- 国【別添】デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプ実績報告の提出先及び提出方法.pdf

(総務省)

- 2月20日 中間監査
- 3月6日 中間報告書提出済み
- 3月20日 CSPFC報告書完成予定
- 3月30日～ 総務省書類提出

(国土交通省)

中間報告書提出済み

上浦新町長＋豊能町議会説明用資料

デジ田で採択された企業の皆さん
パワーポイント2枚までサービス概要と実績報告

3月17日までに事務局とまちづくり創造課に提出！
(必須)

実施地域	〇〇県〇〇市、〇〇地区等	事業費	千円
実施主体	〇〇県〇〇市、〇〇株式会社等	人口	0,000人
事業概要	<p>※本事業の概要について4行以内で簡潔に記載すること。 ※解決を図りたい地域の課題や、地域及び市民等へどのような効果を見込んでいるかがわかるように記載すること。</p>		
<p>取組内容</p> <p>※本事業で実施する取組を具体的に記載ください。</p> <div style="border: 1px solid gray; height: 300px; width: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center; background-color: #f0f0f0;"> <p>イメージ図等 (レイアウト任意)</p> </div>			

9月10月にアンケート原案作成、11月～12月にアンケート実施、1月～2月にアンケート結果報告書作成、3月にアンケート結果報告書提出をお願いします。

11月～12月 アンケート実施

1月～2月 第2回目アンケート実施

2月～3月 第3回目アンケート実施

1月～2月（ほぼ完了）

デジタル田園交付金採択企業は
KPIに合わせたアンケートは必ず作成して事務局へお願いします。

報告書にKPIの記載と分析をお願いします。

基本アンケートはGoogleアンケートをとよのんコンシェルジュにリンク

（現状アンケートリクエスト）

- ・モビリティ（受け取り済み）
- ・公園整備（受け取り済み）
- ・地域通貨（受け取り済み）
- ・見守り（受け取り済み）
- ・ヘルスケア（受け取り済み）



現在、第1回アンケート作成中

2月～3月に一括で対応検討

デジ田含めてKPIでアンケートが記載されている分科会はアンケートをお願いします。

APIアクセスデータの自動集計は11月実装予定（JP-LINKの実装が一部発生）

APIカタログ：データ

各省庁に提出になるので3月までには完成をお願いします。

11月から課金スタ

指摘事項

API：都市OSのAPIを使ってサービス提供をすること。
または具備しているサービス
(独自APIはNGで、少し苦言有)

JP-Linkが公式版
11月か

各スマートシティコンサル会社からこんなにデータ連携が進んでいる
取組みはCSPFCしかないコメントも多く。。。
間違えなく日本最先端！らしい

急ぎではないが、最
作成する際にも活用

FIWARE維持コストが困難自治体が増加傾向

また、他社サービス
JP-LINKポータルコミ

3月から豊能町PJでも課金を

データ保有期間(過去何年分など)
現在のデータ形式 (選択している業界標準を記載(ある場合))

このシートをコピーしてご利用ください

サービス提供開始予定時期やローンチ予定時期をご記入ください。

サービスに必要なデータの概要や種類についてご記入ください。(細かいデータ項目について、下に記載する欄にご記入願います。)今は存在しないサービスでも、「こんなデータがあれば、こんなサービスは提供できそう」のような記載でも構いません。

データのストア先(データ管理企業・機関)の名称をご記入ください。

どのデータ項目を提供するかを示すアウトプットパラメータ(GetUserInfoのような関数/API)

具体的なデータ項目についてご記入をお願いします。項目数が多く、別途Excel/CSVなどで管理している場合、その旨をお知らせください。

スマートシティの取組みは豊能町とCSPFCとの連携協定をもとにおこなっております。
今後月例で原課にも分科会参加を予定します。

- ・ 各原課とのMeeting希望時の流れ
企業→CSPFC事務局→まちづくり創造課→原課
(状況把握のため、できる限り事務局同席でお願いします。オンラインで繋ぐなど)

原課とのMeeting注意点

企業から直接のコスト提示/交渉を原課と調整は行わない。

交付金や助成金の割り当てがあるので、CSPFC事務局とまちづくり創造課で確認が必要

- * コスト提示を原課と企業単独で行うと割り当てができず、案件が止まります。
- * 助成金の場合は、CSPFCが半額補填、国が半額補填しているので、割り当てができません。
CSPFCの補填は執行理事会および事務局での確認が入ります。
国からの予算（補填）：
 - ・ 各省庁の基本方針に従う。（横展開向け、新規性追求、実装/実証など）
 - ・ 予算の重複は、不可事項です。（予算の2重取りは禁止。場合により法的に裁かれます）
 - ・ 条件成立しない場合は、補助額返還を求められます。
- * 企業がCSPFCに半額補填してでも行う事業がある場合は別途相談ください。

現在とよのんコンシェルジュの対応として3月6日より開始

その他サービスの受付に関しては、今後事務局よりアナウンスします。

(現状の稼働)

とよのていねい/豊能町役場→コールセンター&QA対応システム→各社

CSPFC事務局からの案内

対象企業：

OTTA様、I&H様、Y4.com様、イツツコム様、とよのていねい様、DP様、NTTコミュニケーションズ様、SWAT様、アンデコ様、ISID様、アスコエパートナーズ様、大阪NDS様

~~2月21日（水） 第1回報告書（素案）提出期限~~

~~OTTA様、I&H様、Y4.com様、イツツコム様、とよのていねい様、DP様、NTTコミュニケーションズ様、SWAT様、アンデコ様、ISID様、アスコエパートナーズ様、大阪NDS様~~

~~2月22日（木）～9日（木）調整~~

3月10日（金） 第2回報告書提出期限

3月17日（金） 実施計画・実施内容（変更等）報告（豊能町⇒大阪府）

3月11日（土）～24（金）各社様と最終調整

3月27日（月）～30日（木）事務局最終調整

3月31日（金） 豊能町へ提出

対象企業：otta様、三井住友海上様

~~2月20日（月） 総務省中間検査（CSPFC対応）~~

~~2月27日（金） 実績報告書暫定版提出 otta、MS → OZ1 → CSPFC~~

以下、CSPFC対応

~~3月6日（月） ○最終検査資料データ（※1）をメール提出
（実績報告書（案）は日付空欄）~~

3月6日（月）～24（金） 最終検査

3月27日（月） 実績報告書（日付入り）提出

3月31日（金） ○最終検査資料データ（実績報告書を除く）をメール提出

(納品関係：総務省・デジ田共通) ※各社と調整させていただきます。

3月10日～ 納品 (成果物・報告書含む)

3月13日～ 納品書兼検収書

3月14日～ (納品・検収完了後) 請求書

(支払い関係 (予定))

4月25日 総務省支払い (OZ1→各社)

28日 デジ田支払い (OZ1→各社)

2022年 3月

3月の定例会議は全日オンラインの予定です。

1. 見守り（NECネットエスアイ） アイテック阪急阪神 ミマモルメ Otta ITFORCE
2. ヘルスケア（I&H） Green Bioanalytics Maria スパーク Y 4 ウエルグループイッツコム
NTTコミュニケーションズ MOVETEX Nocode Japan アスコエ、ファイテン
3. 子育て（OZ1） （デジタル行政）
4. 買物支援（三井住友） ー
5. デジタル教育（OZ1） NoCodeJapan とよのていねい NTTコミュニケーションズ
6. 観光（おてつたび） OZ1/東武トップツアー
7. 地域経済（Digital Platformer） とよのていねい NoCodeJapan NTTコミュニケーションズ
8. モビリティ（NTTコミュニケーションズ） SWAT Mobility OZ1 アイサンテクノロジー
ネクスト・モビリティ イッツコム NOAA
9. インフラ（OZ1） アンデコ（公園整備）、三井住友（ドラレコ）
10. デジタル行政（電通国際） NECネットエスアイ アスコエパートナーズ OZ1 セイコーソリューションズ NoCodeJapan
大阪NDS
11. 防災（三井住友） イッツコム
12. 横展開ワーキング（CSPFC）
13. セキュリティ委員会 トレンドマイクロ NECネットエスアイ アクリート GMOサイバーセキュリティ

→セキュリティガイドライン（ISKE）、重要インフラセキュリティ対策（CIIP）、サイバーインシデント対応（CIRT）
をJP-LINKで運用するにはの検討

分科会